

双カ

海外事情

OVERSEAS LANGUAGE AND CULTURE COURSE

本学の科目「海外事情」は夏期短期海外留学であり、提携校公認の単位付き海外語学研修です。実際に海外へ赴き、本学と国際交流協定を結んでいる海外の学校において語学研修を行うとともにその国の文化や歴史などを体験することによってグローバルに活躍する人材を育成します。

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 開講学部：経営情報学部／情報メディア学部／医療情報学部 | |
| 種別：選択 | 配当年次：1・2・3・4年 |
| 単位数：2単位 | 開催時期：夏期集中 |
| 評価：研修（「海外事情（アメリカ）」・2単位）の評価は、研修先での成績と、受講生が本学担当教員に提出するレポートにより総合的に判断する。 | |
| 留学先：レイク ワシントン インスティテュート オブ テクノロジー（LWTech） /11605 132nd Avenue NE Kirkland, WA98034 | |
| 電話：(425)-739-8100 | FAX：(425)-739-8110 |
| 日程：8月上旬～下旬（約23日間を予定） | |
| 申込期間：5月下旬 | 参加人数：20名 |
| 参加資格：本学で英語を履修している全学生及び通信教育部の正科生B | |
| 参加費用：約430,000円※ （そのほか、授業料は北海道情報大学が補助） | |
| ※渡航費、滞在費（ホームステイ代）、海外旅行傷害保険料などを含む概算金額です。 そのほか、自分の小遣いなどが必要です。 | |
| ※上記はすべて平成26年度の内容となっております。何卒ご了承ください。 | |
| ※留学先が変更になる可能性もあります。ご了承ください。 | |

アメリカ「レイク ワシントン インスティテュート オブ テクノロジー（LWTech）」への留学 英語を身につけ、グローバルな視野を。

基礎的英語力をさらに実践的な場で運用できるように、英語圏の国アメリカで短期間の集中訓練を実施します。午前中はチームに分かれての語学の勉強や、ゲームを交えての英会話授業、午後からはLWTechの多彩なセミナーに参加するなど、様々なアプローチからの英語力を養っていきます。授業の理解力を上げるには、英語力だけでなく、アメリカの地理や文化に関する背景的な知識も確認しておく必要があります。さらにシアトル市内にある世界的企業（マイクロソフト社など）の見学も盛り込まれており、参加学生のグローバルに活躍する人材へのモチベーションアップにつなげることを目標としています。

アメリカの最先端ITに学ぼう。

留学先のLWTechはIT分野において専門性の高いスキルを身につけ、企業の即戦力につながるプログラムが充実しています。世界のITに触れるこの貴重な機会は、学生一人ひとりにとって大きな刺激となるはず。

国際交流の歩み

- 2002年 アメリカ編の夏期短期留学スタート。
- 2004年 初の長期留学の実現。
UCSCから教授を招いての本学での特別講演。
- 2005年 国際フォーラム'05「IT人材育成をめぐる」の開催。
UCSC40周年記念式典への参加。
- 2006年 学生たちの強い要望によって、20日後だった留学期間が1ヵ月へと延長。
- 2007年 男子学生が単身で初の春期短期留学に参加。
- 2009年 両大学理事長および学長による「LWTCとHIUにおける協力協定」が締結。
第7回 アメリカへの短期留学がLWTCで実現。
- 2011年 LWTCがレイク ワシントン インスティテュート オブ テクノロジー
(LWTech: Lake Washington Institute of Technology)に改名。



アメリカへの「海外事情」は、カリフォルニア大学サンタクルーズ校（UCSC）から始まりました。のびのびとした環境での語学研修と、サンフランシスコ、サンノゼ、ヨセミテ国立公園などへの観光やショートトリップ。たくさんの思い出と成長を胸に、アメリカでの国際交流を果たしました。毎年、数多くの短期留学生を送り出してきましたが、2008年のリーマンショック以来のアメリカ経済危機に、大きな打撃を受けたカリフォルニア州が教育分野における予算を圧縮。この経済措置によって、残念ながら国際教育事業部が廃止となりました。

6回を数えたUCSCへの短期留学。その経験を糧に、次なる夏期短期留学先として適切であると候補に挙がったのが、レイク ワシントン インスティテュート オブ テクノロジー（LWTech: Lake Washington Institute of Technology）当時、レイク ワシントン テクニカル カレッジ（LWTC: Lake Washington Technical College）です。2009年5月、早速、本学より調査団がLWTCを訪問。LWTC

側から、本学とUCSCとの今までの国際交流実績を高く評価され、「2009年夏期短期留学に関する覚書」を結ぶ運びとなりました。そして、2009年8月20日、両大学理事長および学長による「LWTCとHIUにおける協力協定」が締結され、無事に第7回となるアメリカへの短期留学がLWTCで実現することとなったのです。なお9回目となる2011年度は18名、10回目となる2012年度は21名、11回目となる2013年度は11名、2014年度は22名という多数の参加が実現しました。



AMERICA

面積は日本の25倍!
大都会と大自然が共存する。

アメリカ合衆国は50州からなる連邦国で、面積は約962万8,000キロ平方メートルという日本の約25倍もの大きさがあります。人口は約3億1,390万人であり、各州が自治権を持ち、地域によって雰囲気の違いがあります。民族構成は白人が約72%、アフリカ系約13%、アジア系が5%弱、アメリカの先住民が1%などで成り立っています。



LWTechからのMESSAGE

こちらに英語を学びに来て、私達と一緒にアメリカ文化を体験しませんか。レイクワシントンインスティテュートオブテクノロジー(LWTech)では、短期特別集中英語講座が開講されています。この講座ではアメリカの学生と接する機会がたくさん設けられていて、シアトルのたくさんの見どころを巡るツアーも用意されています。この夏期講座は皆さんの英語の実践的会話能力を高めることを目標としています。この講座を担当する英語の専門講師達は英語学習を通じて、皆さんが自分の持つ能力を最大限に引き出してほしいと考えています。学生達は学部が主催する特別セミナーに参加し、美しいワシントン州周辺を巡る多くの社会見学にも参加しています。これにはセイフコ・フィールドでのマリナーズの試合観戦やマイクロソフト社やボーイングといった企業の見学、有名なパイプ・プレイス・マーケットやシアトルのダウンタウン、レーニア山見学等たくさんのプログラムが組み込まれています。この素晴らしいプログラムに皆様をご招待し、LWTechを既に訪れている多くの学生の輪に加わってくださることを願っています。



カークランドってどんな街?

LWTechがあるカークランド(Kirkland)はアメリカ合衆国ワシントン州キング郡の人口が50,000人程度の街です。自然が豊かで、気温も8月で平均20度~25度、また雨の日が少なく夏季短期留学の時期は大変過ごしやすい気候です。小さな街ですが、多くの飲食店や娯楽施設、ショッピングモールがあり、大都市シアトルまで車で1時間程度です。

シアトルってどんな街?

北アメリカ西海岸の最北に位置するワシントン州にあり、マイクロソフト社、アマゾン、任天堂アメリカ、コストコ、スターバックスなど世界的企業の本拠地のある州として知られています。シアトル市はアメリカ太平洋北西部最大の都市で、人口約58万人の7割以上を白人が占める街。夏は涼しく、冬も温暖な住みやすい気候で、豊富な森林資源を利用した紙・パルプ工業が主要な産業であり、アメリカ合衆国トップクラスの国際貿易港です。



レイクワシントンインスティテュートオブテクノロジー(LWTech)の特長

1949年に創立された公立のカレッジで、アメリカ・ワシントン州シアトル市から約16km東に位置する、閑静な街カークランドにあります。インターナショナル部門に重点を置いて多くの留学生を受け入れているため、海外からの学生に対するサポートシステムが充実しています。LWTechの一番の特長は、質の高い英語学習プログラムだけではなく、企業における即戦力を養うための専門的かつ技術的なキャリアトレーニングを受けられること。特にIT分野が充実していますから、その分野における特定のスキル向上をめざす人にはおすすめるカレッジと言えるでしょう。校内にはジムもあり、勉強の合間にフィットネスも楽しめます。また自然に溢れた美しいカークランドは、シアトル市からも近く、ショッピングや観光に気軽に出かけられるのも魅力です。

UNIVERSITY Summer Visit Program to LWTech 2014

| 8月 | 10日(日) | 11日(月) | 12日(火) | 13日(水) | 14日(木) | 15日(金) | 16日(土) | 17日(日) | 18日(月) | 19日(火) | 20日(水) |
|-------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------------|------------------|--------------|--------------------------|---------------------------------|-----------------------|
| 9:00~12:00 | | 11:00 オリエンテーション | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 10:00 クルーズツアー | ホストファミリーと過ごす | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 |
| 12:00~15:00 | 14:00 ホテルチェックイン | | 13:00 スペースノードル見学 | 13:00 プログラムセミナー | 13:00 シアトル水族館見学 | 13:00 Experience Music Project | | | 13:00 パシフィックサイエンスセンター | 13:00 Domestic Student Panel | 13:00 パイププレイスマーケット |
| 15:00~ | | | | | | | | | 14:30 プログラムセミナー | | |

| 8月 | 21日(木) | 22日(金) | 23日(土) | 24日(日) | 25日(月) | 26日(火) | 27日(水) | 28日(木) | 29日(金) | 30日(土) | 31日(日) |
|-------------|--------------------|---------------|-------------------------|--------------|--------------------|-----------------|----------------|--------------|--------------|-----------------|--------|
| 9:00~12:00 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 11:00 Alkiビーチでバーベキュー | ホストファミリーと過ごす | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | 9:00 英語研修 | | |
| 12:00~15:00 | 13:00 プログラムセミナー | 13:00 農場見学 | | | 13:00 プログラムセミナー | 13:00 ショッピング | 13:00 ボーリング | | | 13:00 サッカー観戦 | 帰国 |
| 15:00~ | | | | | | | | | 16:30 卒業式 | | |

留学は英語嫌いの私を大きく変化させました

「英語で会話する」＝
「英語で思考する」を実感

私が海外留学を考えたのは2年生になり、少し余裕ができたことから新しいことに挑戦したいと思ったからです。留学期間は3週間でしたが、最初は相手が何を言っているのか全然わかりませんでした。留学先のスタッフやホストファミリーが明瞭な英語で話してくれたので、2週目以降は耳が慣れ、3週目になると、英語で思考している自分が実感できました。留学中は一日中勉強をしているわけではなく、朝から昼まで勉強したら、午後はシアトルまで出かけて観光したり、セミナーでアクティビティを満喫したりと楽しすぎ

て逆に不安になることもありました(笑)。

英語は使うものだと知ってから全てが変わった
留学後に変わったことは英語に対する苦手意識の払拭です。授業は全て英語オンリーで、英語に苦手意識を持っていた私は、一度挫折しかけていたのですが、アメリカの人たちに励まされ立ち直るとともに、英語は勉強するものではなく使うものだという事に気づきました。完璧でなくてもよいと思ったら英語を使うことが楽しくなると共に、アメリカのおおらかさが自分に良い影響を与えてくれたと感じています。



情報メディア学部 情報メディア学科 2年
上原 緑理さん

STUDENTS' VOICE

留学が自分の世界を広げる第一歩になって欲しい

「観光」ではなく、
目的を持って「留学」をする

僕は海外への渡航経験が何度かあり、普段から海外の友人と会話する機会もあるため、英語はそれなりに話せる方でした。現地での授業に若干の物足りなさを感じたこともありましたが、英語と触れ合える機会はキャンパス内だけではないので、英語力を養う機会はたくさんありました。ただアメリカに滞在するだけでは、単なる観光で終わってしまいます。英語力に関わらず、まず留学する目的を明確にする事が大切だと思いました。3週間という短い期間でしたが、リスニング力の向上という目

的を達成出来ただけでなく、良き人間関係も築き上げることが出来たので、この「海外事情」という授業に参加して良かったと心から思います。
日本とは違う自分の個性を活かせる国
『皆違って当たり前』これは僕がアメリカで感じたことです。アメリカには様々な人種、文化、宗教や思想が入り交じっています。そのせいか、滞在中は、互いを尊重し合うという姿勢が多くの人たちに見られました。もし、日本で自分を上手く表現できないと思い悩んでいる人がいたら、ぜひこの「海外事情」に参加してほしいと思います。

北海道情報大学
新潟教育センター システム情報学科 3年
鈴木 輝雄さん

TEACHERS' MESSAGE

自分の英語に自信を持つチャンス

アメリカ短期留学では英語の講義だけではなく、マイクロソフトやボーイング社などの見学、BBQや、スポーツ観戦などの研修を経て、現地の人とコミュニケーションをとります。みなさんは中学、高校と6年間英語を勉強して大学に入学すると思いますが、留学を通じて、実際に英語を使い、コミュニケーションをすることで、英語に対して自信をもってもらいたいと思います。社会人になると留学するのは時間的にも困難だし、学費等、大学が負担してくれる部分もあるのでこのチャンスをぜひ利用してください。
Just do it!

アメリカ短期留学は、ホームステイを基本とする多文化主義的アメリカの体験や公共交通機関を利用した自主的な活動を主にしています。原則的に午前は語学研修、午後は文化体験を行い、異なる環境にあることを意識した計画的行動や他の参加者、ホストファミリーへの配慮が求められます。留学前は心配でも、申込みから出発までの間に例年3～5回程度事前研修を実施していますし、いざ行ってみれば何とかなることがほとんどです。少しでも興味を持った学生は、まずは説明会に参加してみてください。

現地に根差した勉強の機会がここに



経営情報学部 システム情報学科
教授 **Simon Thollar**



医療情報学部 医療情報学科
講師 **荒木 陽子**

HIUワールド

TEDとは

「価値あるアイデアを広める」ための非営利組織、それがTEDです。25年前にカリフォルニアで初のカンファレンスが開かれて以来、世界を牽引する多彩なトップランナーたちが、すぐれたアイデアを発表してきました。そのスピーチは、TED.comで閲覧できます。

TEDxとは

「価値あるアイデアを広める」体験を共有するために、世界各地で自主的に開かれるイベントが「TEDx」です。2009年から始まり、いまやTEDxイベントが開かれていない国はないといっても過言ではありません。世界中で、すでに10,000回以上開催されています。

TEDxUniversityとは

海外ではハーバード大学、カリフォルニア大学ロサンゼルス校、オックスフォード大学で、日本では早稲田大学、慶応義塾大学、北海道大学などで開催されてきました。そして国内9番目の「TEDxUniversity」の舞台となったのが、北海道情報大学(HIU)です。

TEDxHIUとは

TEDxHIUでは、TEDのブランドを重視しつつ、北海道情報大学(HIU)からでしか発信できない新たなメディアを、世界に発信するために活動を続けています。また情報に特化した大学として、北海道情報大学らしいTEDxUniversityイベントを目指しています。



北海道情報大学でアメリカを感じる国際イベント

TEDxHIU AFTER INTERNET

世界にまでとどくインパクトを生み出したい。

情報大学はTEDxUniversityを日本で9番目に開催した大学です。2014年11月30日、2013年に続き北海道情報大学松尾記念館講堂を会場に開催されました。この日の準備を主体となって進めてきたのは、本学の学生スタッフたち。異文化交流サークルの会長も務める川股学さんを中心に、スタッフ一人ひとりがそれぞれの役割に熱い想いで取り組んでいました。

今年の「TEDxHIU」のテーマは、「AFTER INTERNET」。AFTER INTERNETとは、人工知能や現在のインターネットの環境を前提に、新しい時代やインターネットの形を示す言葉です。AIを

愛と読むことで、人と人の心の繋がりも表現できると考えています。

印象的なオープニングムービーで幕を開けた「TEDxHIU」は、本学の学生3人と職員2人を含む10名のスピーカーによる有意義なスピーチが展開されました。

かけがえのない「TEDxHIU」。この反響を次の機会へ。

最初のスピーカーでありTEDxHIUのオープニングムービーを作った本学4年福田賢人さんは映像、本学3年の滝山智美さんはイラストに対する思いを、体験談を交えて伝えてくれました。本学大学院2年の伊波さんには情報化社会に生きる現代人が持つべき、人間の基本的



なコミュニケーションの大切さに気付いたことについて語っていただきました。社会人としてそれぞれの分野で活躍されている岩谷圭介さん、本間勇輝さん、税所篤快さん、元木一喜さんは挑戦することの大切さ、楽しさの中に学びがあることを、教えてくれました。本学の尾崎博一教授、ライアン・ジョエル・P. 講師、渡部重十センター長からは、それぞれの研究者の立場から楽しいお話を頂きました。

2度目となる「TEDxHIU」は10名のスピーカーやスタッフはもちろん、来場したみなさんにとって前回同様かけがえのない機会となりました。



SPEAKERS (学年などについては開催時当時のものです)

TEDxHIU ORGANIZER



情報メディア学科4年
川股 学



情報メディア学部4年
福田 賢人



経営情報学部 教授
尾崎 博一



経営情報学部 講師
ライアン・ジョエル・P.



風船写真家
岩谷 圭介



NPO法人HUG代表理事
NPO法人東北開墾理事
本間 勇輝



国際教育支援NGO
「e-Education」創業者
税所 篤快



北海道情報専門学校専任講師/
ワークショップデザイナー
元木 一喜



北海道情報大学大学院
経営情報学研究科2年
伊波



宇宙情報センター長
渡部 重十



情報メディア学部3年
滝山 智美